

報告事項 NO. 1

令和4年度
川崎市立小学校
学習状況調査報告
(概要)

◎ 調査の概要

1 調査の目的

全市的な規模で児童の学習状況を調査することにより、学習指導上の問題点及び改善点を明らかにする。その結果を、各学校においては、今後の学習指導法の改善や教育課程編成の工夫等、児童の基礎学力の向上に役立てる。

2 調査の内容

○国語・算数

調査の目的に基づき、学習指導要領の定める第4学年までの内容のうち、ペーパーテストで調査を行うことが適当な項目について調査を実施した。

○学習意識調査（生活や学習についてのアンケート）

児童の学習や生活に対する意識等について明らかにするために、児童を対象とする意識調査を実施した。

3 調査の対象 市内全市立小学校の第5学年の児童

4 調査実施日及び調査対象教科・人数

(1) 調査実施日 令和4年5月10日（火）

(2) 調査対象教科・人数 小学校第5学年

国語	11,625人／12,267人（5/1現在）
算数	11,625人／12,267人
生活や学習についてのアンケート	11,637人／12,267人

領域等ごとの正答率（【 】内は令和3年度）

話すこと・聞くこと 72.4%【78.1%】
 書くこと 70.1%【72.4%】
 読むこと 73.2%【72.0%】
 知識及び技能 82.6%【77.6%】

◎国語調査結果の概要

1 出題・観点等一覧

通し 番号	大問 番号	小問 番号	解答形式		正答 (選択式→番号 記述式→言葉)	観点			問題の内容	領域	出題のねらい	学習指導要領	正答率(%)	
			選択	記述		知識・技能	思考・判断・ 表現(話すこと・ 聞くこと)	思考・判断・ 表現(書くこと)					思考・判断・ 表現(読むこと)	市全体
1		(1)	☆		2		◎				話の中心に気をつけて、発表を聞き取ることができる。	[思判表]A(1)エ	81.3	
2		(2)	☆		1		◎				話の中心に気をつけて、発表を聞き取ることができる。	[思判表]A(1)エ	66.9	
3	1	(3)	☆		4		◎		話の内容を聞き取る	話すこと・ 聞くこと	話の中心に気をつけて聞き、話し方の工夫を聞き取ることができる。	[思判表]A(1)エ	70.8	
4		(4)	☆		1		◎				話の中心に気をつけて聞き、話し方の工夫を聞き取ることができる。	[思判表]A(1)エ	70.6	
5		①	☆		農業	◎			漢字を書く	言葉の特徴 や使い方	第三学年配当漢字を書くことができる。	[知技](1)エ	51.0	
6		②	☆		畑	◎			漢字を書く		第三学年配当漢字を書くことができる。	[知技](1)エ	91.7	
7		③	☆		えいよう	◎			漢字を読む		第四学年配当漢字を読むことができる。	[知技](1)エ	95.3	
8	2	(1)	☆		温めて	◎			漢字を書く		第三学年配当漢字を書くことができる。	[知技](1)エ	71.4	
9		⑤	☆		や	◎			漢字を読む		第四学年配当漢字を読むことができる。	[知技](1)エ	96.8	
10		⑥	☆		この	◎			漢字を読む		第四学年配当漢字を読むことができる。	[知技](1)エ	94.3	
11		(2)	☆		十二(12)	◎			漢字の書き順		第三学年配当漢字の書き順を理解している。	[知技](1)エ	70.2	
12		(1)	☆		3	◎			言葉の学習	言葉の特徴 や使い方・話 や文章に含 まれている 情報の扱い 方・我が国 の言語文化	接続語を理解している。	[知技](1)カ	89.3	
13		(2)	☆		2	◎					主語について理解している。	[知技](1)カ	69.7	
14		(3)	☆		うつくしい	◎					国語辞典を利用して調べることができる。	[知技](2)イ	80.1	
15	3	(4)	①	☆	だるま	◎					ローマ字で書かれた身近な単語を読むことができる。	[知技](1)ウ	84.5	
16		②	☆		4	◎					身近な単語をローマ字で書くことができる。	[知技](1)ウ	91.4	
17		(5)	☆		1	◎					ことわざを適切に使うことができる。	[知技](3)イ	80.6	
18		(6)	☆		3	◎					伝えたい気持ちを適切に言葉で表すことができる。	[知技](3)イ	90.2	
19		(1)	☆		1		◎				場面の移り変わりに注意して、動作の主体をとらえることができる。	[思判表]C(1)イ	80.0	
20		(2)	☆		2		◎		物語の内容を 読み取る	読むこと	叙述をもとに登場人物の様子や気持ちを読み取ることができる。	[思判表]C(1)イ	90.6	
21		(3)	☆		4		◎				叙述をもとに登場人物の性格を読み取ることができる。	[思判表]C(1)エ	94.8	
22		(4)	☆		3		◎				叙述をもとに登場人物の気持ちの変化を読み取ることができる。	[思判表]C(1)エ	78.7	
23		(1)	☆		3		◎				文と文の意味のつながりを理解して文章を読むことができる。	[思判表]C(1)ア	89.5	
24		(2)	☆		3		◎				指示語の内容をとらえて文章を読むことができる。	[思判表]C(1)ア	78.6	
25		(3)	☆		2		◎				段落相互の関係に注意して文章を読むことができる。	[思判表]C(1)ア	64.5	
26	5	①	☆		にがて		◎		説明文の内容を 読み取る	読むこと	文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を要約することができる。	[思判表]C(1)ウ	48.1	
27		②	☆		(例) 細長い巣をほる		◎				文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を要約することができる。	[思判表]C(1)ウ	55.4	
28		③	☆		ためこむ		◎				文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を要約することができる。	[思判表]C(1)ウ	51.4	
29		(1)	☆		4		◎		文章を推敲する	書くこと	文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりできる。	[思判表]B(1)エ	88.3	
30	6	(2)	☆		2		◎		手紙の後付けを書く		手紙の後付けを書くことができる。	[思判表]B(2)イ	56.3	
31		1	☆		A・Bのどちらかを選択している		◎		作文	書くこと	経験したことや想像したことなどから書くことを選ぶことができる。	[思判表]B(1)ア	86.2	
32	7	2	☆		理由がわかるように、自分の考えを書いている		◎				自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書くことができる。	[思判表]B(1)ウ	49.7	

※解答形式について…問題が「選択肢問題」、「記述問題」のいずれであるかを☆で表しています。

※いずれも3・4年

比較的良好な状況と考えられる主な設問
 課題があると考えられる主な設問

- 4 (3) 叙述をもとに登場人物の性格を読み取ることができる。(94.8%)
- 5 (4) ③文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を要約することができる。(51.4%)
- 7 2 自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書くことができる。(49.7%)

国語科で課題があると考えられること

「目的を意識して必要な情報を見付けたり、考えを明確に書き表したりすること」

2 「考えを明確に書き表すこと」に注目した問題

自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書くことができる

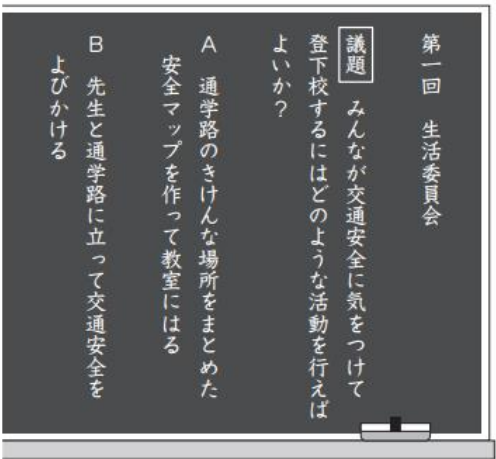
書くこと

72 (報告書P20 問題P10参照)

生活委員会では、みんなが交通安全に気をつけて登下校するにはどのような活動を行えばよいか話し合いました。話し合いの中で、〈黒板〉に書かれたA・Bの意見が出されたので、どちらの意見に賛成するか、理由を書いて投票することになりました。

下の〈注意する点〉にしたがい、投票のための文章を書きましよう。

〈黒板〉



〈注意する点〉

① 〈黒板〉のA・Bのうち、より必要だと思う方を一つ選び、記号(A・B)を解答用紙の【はじめ】の□に書きましよう。

② 〈解答用紙の【なか】について〉

○書き出しの「なぜなら」に続けて、みんなが交通安全に気をつけて登下校するために、選んだ活動が必要だと思う理由を、選んだ活動のよさが伝わるように、解答用紙の【なか】に書きましよう。

○三十字以上、五十字以内で、解答用紙の【おわり】の文にながるように書きましよう。

(書き出しの言葉や、空らん、や。も一字と数えます。)

○文は二つ以上になってもかまいません。文が二つ以上になるときは、つなぎ言葉にもよく注意ましよう。

投票のための文章		
【おわり】	【なか】	【はじめ】
これで、みんなが交通安全に気をつけて登下校することができると思います。	答えは、すべて解答用紙に書きましよう。	わたしは、みんなが交通安全に気をつけて登下校するためには、□の活動が必要だと思ひます。なぜなら、

正答例

・(なぜなら)きけんな場所を知らせることで、通学路を使うときにいつも気をつけることができるからです。【Aの取組を選んだ場合】

正答率 49.7%

正答条件を満たしていない割合

- (1) 交通安全に気をつけた登下校をうながす活動として、選んだことのよさが伝わるように書いていない。 9.5%
- (2) 自分の考えを書いていない。 0.4%
- (3) 「なぜなら」にスムーズにつながるよう書いていない。 5.8%
- (4) 三十字以上、五十字以内で書いていない。 3.9%

【授業改善に向けて】

- ・文章を書く際には構成や書き表し方を推敲する習慣をつける指導の工夫。
- ・日常的に書く活動を取り入れていく指導の工夫。

3 「目的を意識して必要な情報を見付けること」に注目した問題

文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を要約することができる

読むこと
5 (4) ③ (報告書 P 17 問題 P 7 ～ P 8 参照)

5 次の文章は、オオミズナギドリという鳥について説明している文章です。これを読んで、下の問題に答えましょう。

オオミズナギドリは、えさを求めて一日に一〇〇〇キロ以上も飛ぶといわれるほど、飛ぶ能力にすぐれた鳥ですが、「※離陸」と「着地」はどちらもがてなようです。からだのわりにつばさが細長いので、その場からすっと飛びたつことができないのです。【1】
毎朝、飛びたつときは、鋭いくちばしや足の爪をたてて、かたむいた高い木か岩によじのぼります。



オオミズナギドリ

つばさを広げてバランスをとりながらよちよちと前へと進み、そこから海に向かってとびおります。そのときに風をじょうずにとらえ、飛んでいくのです。かたむいた木は※さしずめ「離陸」するための「滑走路」といえます。だから人気の木には、ときには数百羽が集まって順番を待つ列をつくります。【2】

夕方になると、海にでていたオオミズナギドリがみな、無人島にかえってきます。ところが、おるときも、すすつと、すべるようにうまく「着地」できないのです。【3】

スピードをゆるめるために逆方向に羽ばたき、水かきや尾羽を広げて、空から落ちるように、ドスンとおります。木がたくさ

んはえているところでは、枝にひっかかってから落ちたりもしません。

オオミズナギドリが、ユニークなのは、それだけではありませんが、地面に細長い巣をほって、そのなかでメスがたった一個だけ卵を産み、かえったヒナを育てるのです。【4】

ヒナが生まれると、親鳥たちは昼間に腹いっぱいいためこんだエサを胃からはきだしてヒナにあたえます。

(キム・ファン「きせきの海をうめたてないで!」による)
※離陸＝陸から飛び立つこと。
さしずめ＝つまり。

ユニーク＝他のものとはちがっている様子。

(4) この文章を読んだ深田さんは、オオミズナギドリについてわかったことを、「オオミズナギドリのひみつ」として(メモ)にまとめました。(メモ)の中の□□にあてはまる言葉を、次の〈注意する点〉にしたがって書きましょう。

〈注意する点〉

③ ウは、文章中の言葉を使い、□□に合う形で四字で書きましょう。

2 子育ての特ちょう

- 親鳥の行動
 - ・地面に□イ。
 - ↓
 - ・なかでメスが一個だけ卵を産む。
 - ↓
 - ・かえったヒナを育てる。
- ヒナの世話
 - ・親鳥は、昼間におなかにたくさんのエサを□ウ。
 - ・ヒナには、そのエサを胃からはきだしてあたえる。



【正答】
ためこむ
【正答率】
51.4%

【授業改善に向けて】

- ・ 目的を明確にして文章を読むことができる指導の工夫。
- ・ 目的に応じて各段落を短くまとめたり、全文を要約したりする指導の工夫。

領域ごとの正答率（【 】内は令和3年度）

◎算数調査結果の概要

1 出題・観点等一覧

出題・観点等一覧

数と計算	67.7%	【69.5%】
図形	56.9%	【55.9%】
変化と関係	58.3%	【59.8%】
データの活用	73.3%	【73.6%】

通し番号	大問番号	中間番号	小問番号	解答形式			正答			観点		問題の内容	領域	説明	学年	平均正答率(%)	
				選択	短答	記述	選択式→番号	短答式→言葉	記述式→文章	知識・技能	思考・判断・表現					市全体	令和3年度
1		(1)	あ	☆			570		◎	○	小数のたし算・ひき算	A 数と計算	小数を、0.01をもとにしていくつ分かで考えることができる。	4年A(4)ア(イ)		75.8	
2		(1)	い	☆			23		◎	○	小数のたし算・ひき算	A 数と計算	小数を、0.01をもとにしていくつ分かで考えることができる。	4年A(4)ア(イ)		92.4	
3		(1)	え	☆			593		◎	○	小数のたし算・ひき算	A 数と計算	小数のたし算の仕組みを、整数のたし算をもとにして考えることができる。	4年A(4)ア(イ)		72.9	
4		(2)	え	☆			0.46		◎		小数のしくみ	A 数と計算	数直線上の小数を読み取ることができる。	4年A(4)ア(イ)		80.7	
5		(2)	お	☆			0.508		◎		小数のしくみ	A 数と計算	数直線上の小数を読み取ることができる。	4年A(4)ア(イ)		65.7	
6		(1)		☆			37.09		◎		小数のひき算	A 数と計算	$\frac{1}{100}$ の位までの減法ができる。	4年A(4)ア(ウ)		62.9	
7		(2)		☆			6.75		◎		わり算	A 数と計算	(整数)÷(整数)のわり進む除法ができる。	4年A(4)ア(エ)		63.5	
8		(3)		☆			55		◎		式と計算	A 数と計算	四則混合計算ができる。	4年A(6)ア(ア)		80.9	
9		(4)		☆			$4\frac{2}{5}$ または $\frac{22}{5}$		◎		分数のたし算	A 数と計算	帯分数を含む同分母分数の加法ができる。	4年A(5)ア(イ)		71.3	
10	3			☆			5(本できて、)1.2(cmあまる。)		◎	○	小数と整数のかけ算・わり算	A 数と計算	(小数)÷(1けた)の余りのある除法の適用問題ができる。	4年A(4)ア(エ)		56.5	
11		(1)		☆			10		◎	○	分数の大きさ	A 数と計算	分数が単位分数のいくつ分かで表せることがわかる。	4年A(5)		74.3	
12		(2)		☆			$1\frac{1}{6}$ または $\frac{7}{6}$		◎		分数の大きさ	A 数と計算	テープ図に示された分数を読み取ることができる。	4年A(5)		55.1	
13		(3)		☆			3 (→) $\frac{13}{5}$ (→) $2\frac{2}{5}$ (→) $1\frac{4}{5}$ (→) $\frac{6}{5}$ (完答) ※仮分数を帯分数、帯分数や整数を仮分数にしても、並び順があてれば正解とする。		◎		分数の大きさ	A 数と計算	分数の大きさがわかり、仮分数・帯分数・整数を大小順に並べることができる。	4年A(5)		71.1	
14		(1)		☆			ねたん：左から40、120 割合：口 (完答)		○	◎	変化と関係	C 変化と関係	もとにする量と倍の関係を図に表すことができる。	4年C(2)		29.2	
15		(2)		☆			きゅうりは(120÷40=3で)3倍の値上がりで、レタスは(200÷100=2で)2倍の値上がりだから、きゅうりのほうがより値上がりしたと考えました。			◎		変化と関係	C 変化と関係	割合を用いた比べ方を理解し、正しく説明することができる。	4年C(2)		62.2
16	6			☆			83+17 または 100		◎		式と計算	A 数と計算	計算のきまりを理解している。	4年A(7)		37.9	
17	7			☆			①:500+300+200 ②:1000 (完答 正答は一例)		◎	○	がい数	A 数と計算	概数の表し方を理解し、切り上げの計算をすることができる。	4年A(2)		54.6	
18	8			☆			1. 3. 4に○ 2. 5に×		○	◎	図形の見方	B 図形	図形を構成する要素に着目し、図形を組み合わせてできる形を考察することができる。	4年B(1)		55.4	
19		(1)		☆			3			◎		角	B 図形	180°よりも大きい角のおよその大きさをとらえることができる。	4年B(5)		69.5
20		(2)		☆			220(度)		◎			角	B 図形	180°よりも大きい角を分度器を用いて求めることができる。	4年B(5)		59.2
21		(1)		☆			5×6(=30) または 6×5(=30)		◎			面積	B 図形	長方形の面積を求めることができる。	4年B(4)ア(ア)、(イ)		66.9
22		(2)		☆			2		◎	○		面積	B 図形	面積の大きさについての感覚を身につけている。	4年B(4)ア(ア)		29.0
23	11			☆			1			◎		垂直・平行と四角形	B 図形	平行四辺形の作図の仕方を性質をもとに考えることができる。	4年B(1)ア(イ)		60.7
24		(1)		☆			ア、イ、ウ、オ(順不同、完答)		◎			垂直・平行と四角形	B 図形	向かい合った角の大きさの性質がわかる。	4年B(1)ア(イ)		67.1
25		(2)		☆			ウ、オ(順不同、完答)		◎			垂直・平行と四角形	B 図形	四角形の対角線の性質がわかる。	4年B(1)ア(イ)		42.0
26		(1)		☆			5			◎		立体	B 図形	立方体になる展開図を判断することができる。	4年B(2)ア、イ		56.1
27		(2)		☆			辺アオ、辺イカ、辺ウキ、辺エク(順不同、完答) ※辺の表記の無いものも正解とする。		◎			立体	B 図形	立方体の面に垂直な辺がわかる。	4年B(2)ア、イ		58.3
28	14			☆			採点用正答用紙参照			◎		面積	B 図形	複合図形の面積を求める式の意味を理解し、図に示すことができる。	4年B(4)ア(イ)、イ		61.7
29		(1)		☆			28(こ)		○	◎		変化と関係	C 変化と関係	数量の関係を読みとり、調べるすることができる。	4年C(1)		79.8
30		(2)		☆			○×4(=△)		◎	○		変化と関係	C 変化と関係	ともなって変わる二つの数量の関係を式に表すことができる。	4年C(1)		61.8
31		(1)		☆			ろう下で打ぼくをした人の数		◎			データの活用	D データの活用	2次元表を理解し、値を説明することができる。	4年D(1)ア(ア)、イ		81.4
32		(2)		☆			2. 4 (順不同、完答)		○	◎		データの活用	D データの活用	表から傾向を読み取ることができる。	4年D(1)ア(ア)、イ		65.1

※解答形式について…問題が「選択肢問題」、「短答問題」、「記述問題」のいずれであるかを☆で表しています。

比較的良好な状況と考えられる主な設問
課題があると考えられる設問

1 (1) 小数を、0.01をもとにしていくつ分かで考えることができる。2 (3) 四則混合計算ができる。(80.9%)
3 (小数)÷(1けた)の余りのある除法の適用問題ができる。(56.5%)
5 (1) もとにする量と倍の関係を図に表すことができる。(29.2%)

算数科で課題があると考えられること

「目的や場면을把握しそれに応じて考察し判断すること」

2 場面に応じて適切に判断することに注目した問題

(報告書 P30 問題 P3 参照)

数と計算

(小数) ÷ (1けた) の余りのある除法の適用問題ができる。

3 21.2cmのテープがあります。このテープをはじから4cmずつ切り分けていきます。4cmのテープは何本できて、何cmあまりますか。 ㊦

【正答】 5本できて1.2cmあまる。

【正答率】 56.5%

【主な誤答】

- ・ 5本できて12cmあまる。(3.3%)
- ・ 5.3本できて△cmあまる。
- ・ 53本できて△cmあまる。
- ・ 5本できて0.3cmあまる。

— などのわり進みの児童 (22.2%)

(参考) R3年度

3 19.2cmのテープがあります。このテープをはじから3cmずつ切り分けていきます。3cmのテープは何本できて、何cmあまりますか。 ㊦

【正答率】 52.4%

大問3	H30	H31	R2	R3	R4
正答率%	56.6	56.2	47.7	52.4	56.5

【授業改善に向けて】

○問題場면을把握するために
具体物や半具体物、図を用いて表現する活動

○商とあまりの関係も明確にするために
場面の意味を考える活動

・問題を読んだときに見積もること
→「答えがどのくらいになりそうか」
→「どんな数になりそうか」

・結果から振り返ること
→「出てきた答えが本当に問題場面と結びついて
いるか」

◎生活や学習についてのアンケート

1 授業に対する好感度・理解度について

(報告書P59 参照)

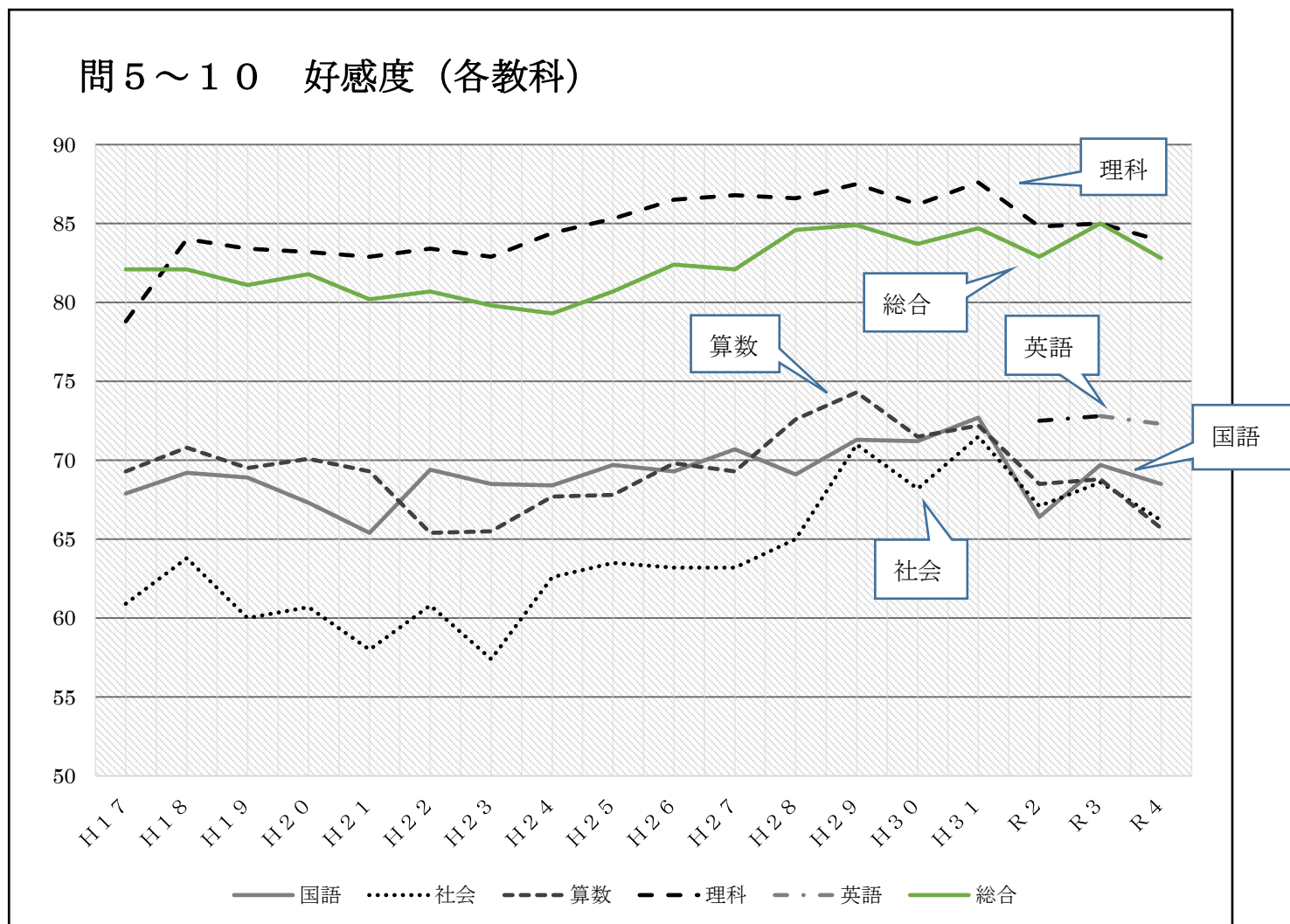
好感度

問5～10

次の授業は、好きですか。

平成17年度からの経年変化

国語	R2	66.4%	-6.3
	R3	69.7%	+3.3
	R4	68.5%	-1.2
社会	R2	67.1%	-4.4
	R3	68.6%	+1.5
	R4	66.2%	-2.4
算数	R2	68.5%	-3.7
	R3	68.8%	+0.3
	R4	65.7%	-3.1
理科	R2	84.8%	-2.8
	R3	85.0%	+0.2
	R4	83.9%	-1.1
英語	R2	72.5%	
	R3	72.8%	+0.3
	R4	72.3%	-0.5
総合	R2	82.9%	-1.8
	R3	85.0%	+2.1
	R4	82.8%	-2.2



「好きだ」と「どちらかといえば、好きだ」と回答した児童は、R3年度と比べてすべての教科で減少している。

(報告書 P60 参照)

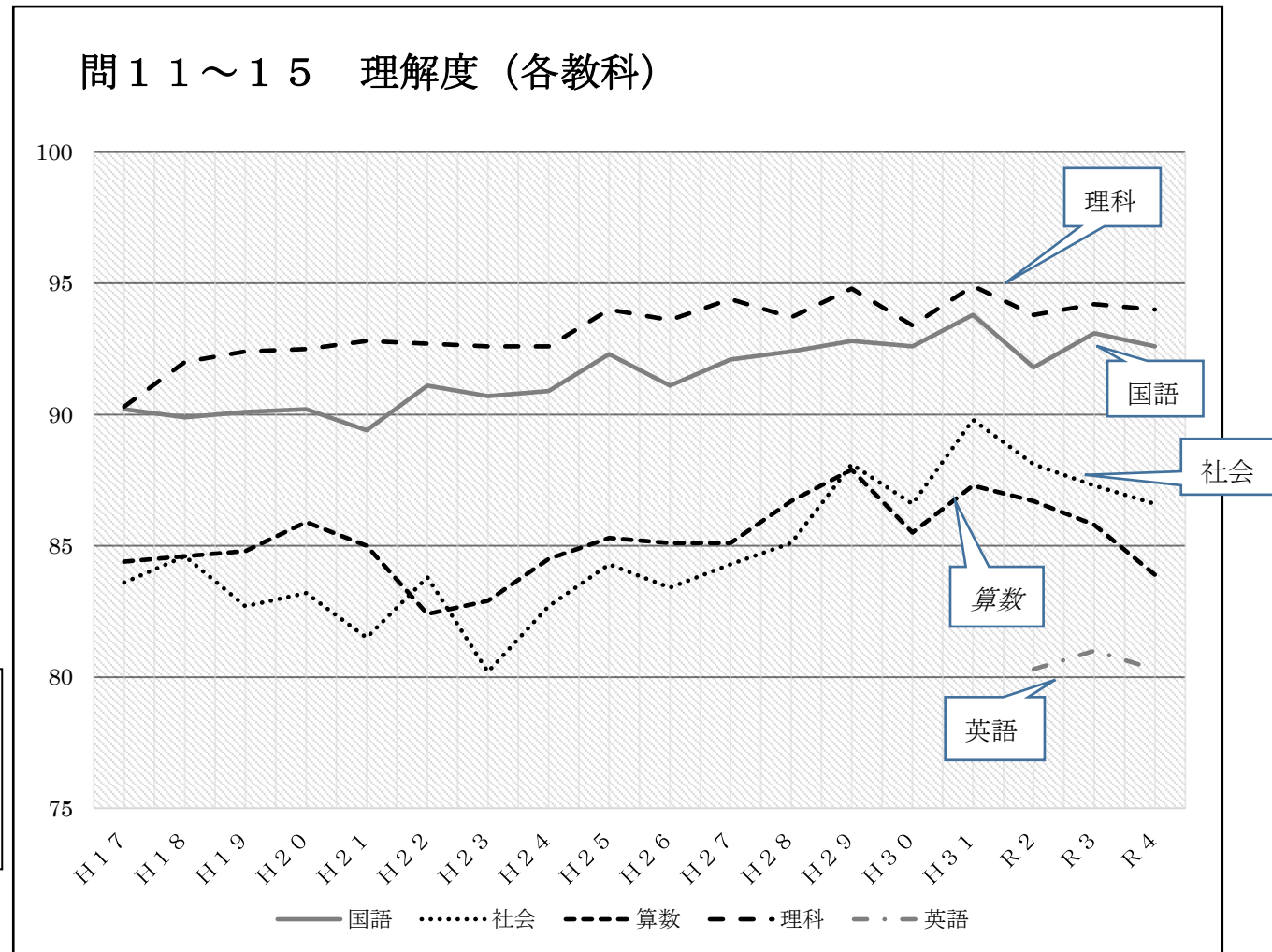
理解度

問 11～15 次の授業は、よくわかりますか。

平成 17 年度からの経年変化

国語	R2	91.8%	-2.0
	R3	93.1%	+1.3
	R4	92.6%	-0.5
社会	R2	88.1%	-1.7
	R3	87.3%	-0.8
	R4	86.6%	-0.7
算数	R2	86.7%	-0.6
	R3	85.8%	-0.9
	R4	83.9%	-1.9
理科	R2	93.8%	-1.1
	R3	94.2%	+0.4
	R4	94.0%	-0.2
英語	R2	80.3%	
	R3	81.0%	+0.7
	R4	80.3%	-0.7

「わかる」「どちらかといえ
ば、わかる」と回答した児童を
R3年度と比較するとすべての
の教科で減少している。

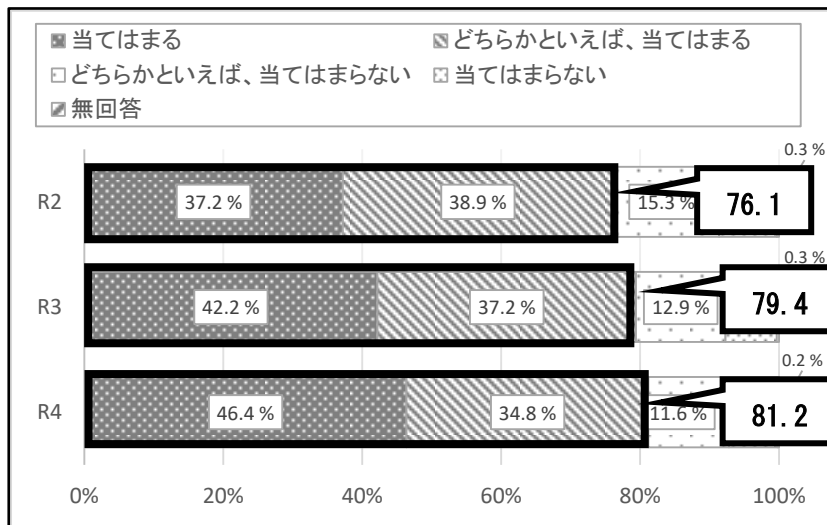


2 自尊心・将来に関する意識などについて

(報告書P69 参照)

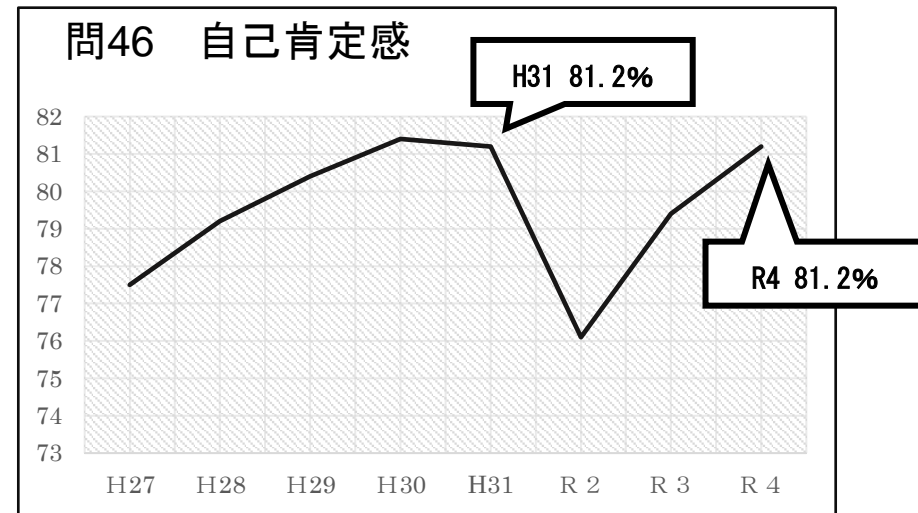
自己肯定感

問46 自分には、よいところがあると思いますか。



「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合は、81.2%で、3年度より1.8ポイント増加した。

平成27年度からの経年変化

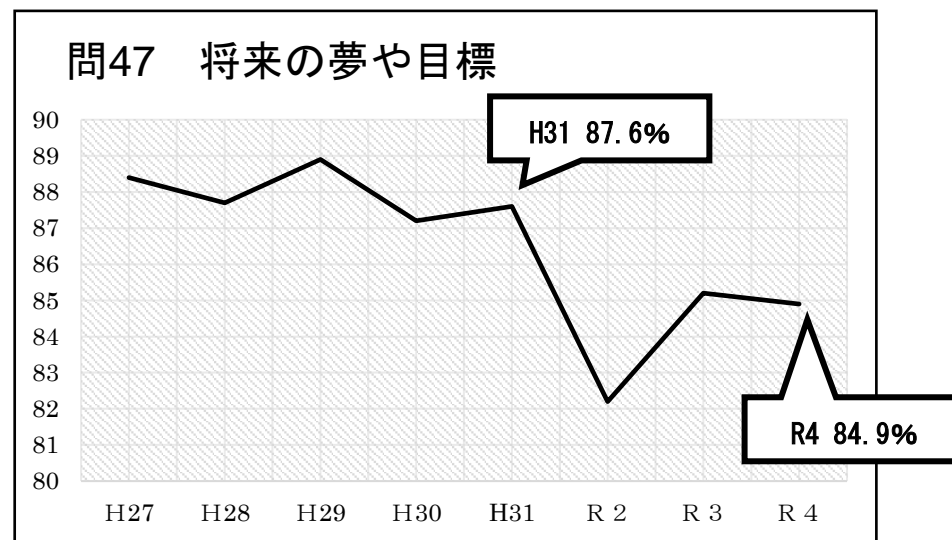
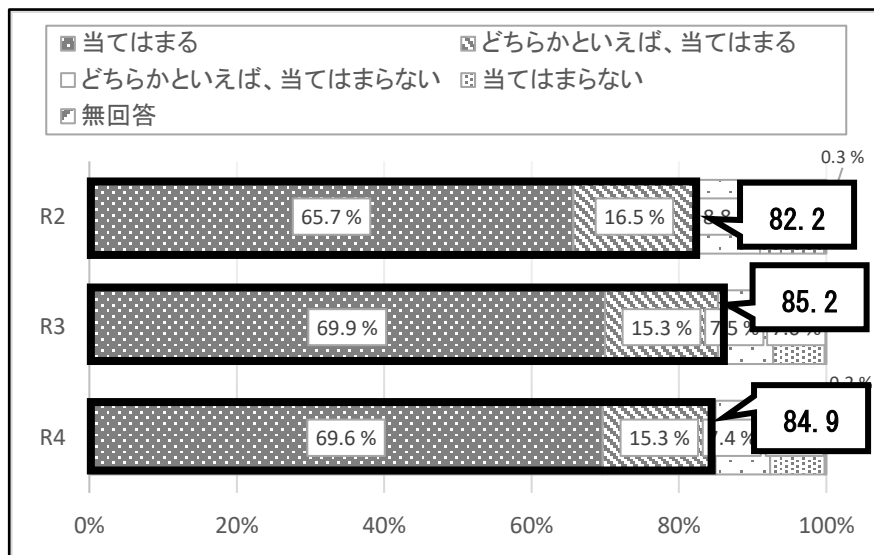


(報告書 P69 参照)

将来に関する意識

問 47 将来の夢や目標を持っていますか。

平成 27 年度からの経年変化

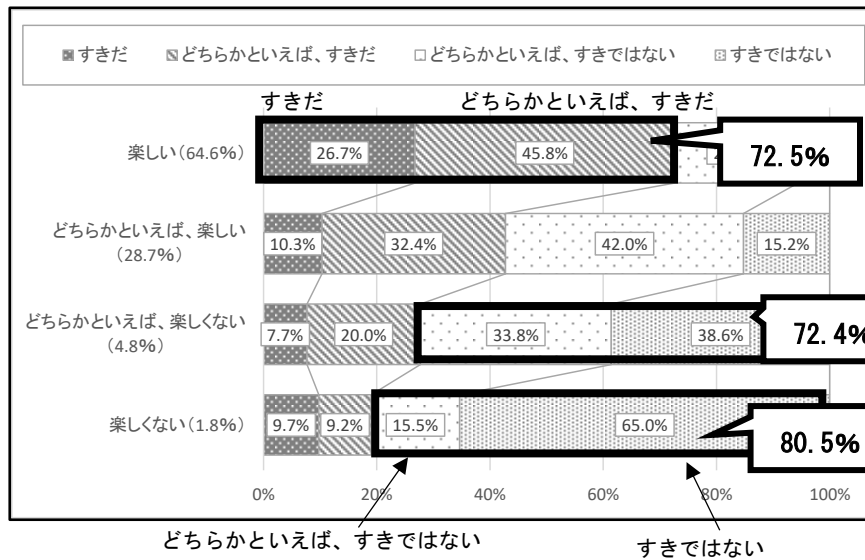


「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と回答した児童の割合は、84.9%で、3年度より 0.3 ポイント減少した。

3 自尊意識とのクロス集計について

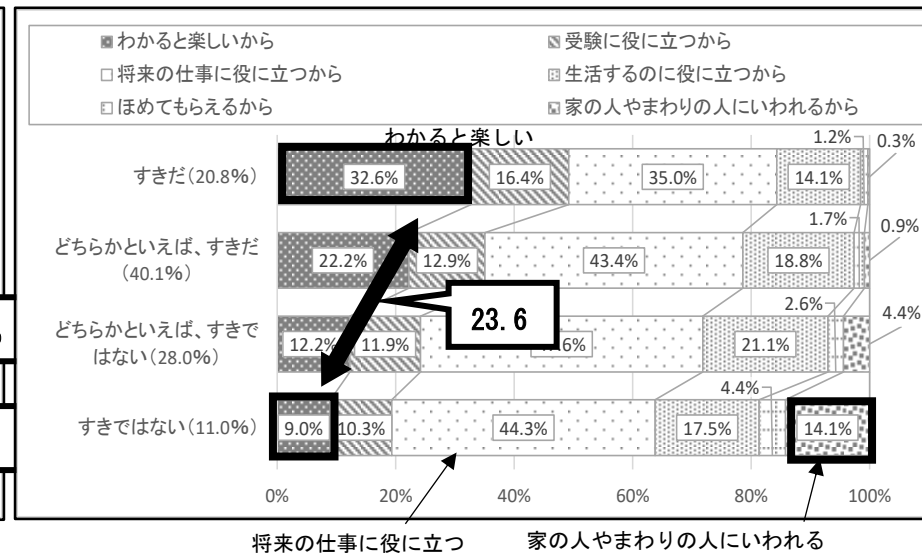
(報告書P77～P78 参照)

1 学校の楽しさ【問1】×学習に対する好感度【問2】



学校生活が楽しい児童ほど、学習に対する好感度が高い傾向がある。学校生活は「楽しくない」と回答した児童の80.5%、「どちらかといえば、楽しくない」と回答した児童の72.4%が勉強は「すきではない」、「どちらかといえば、すきではない」と答えている。

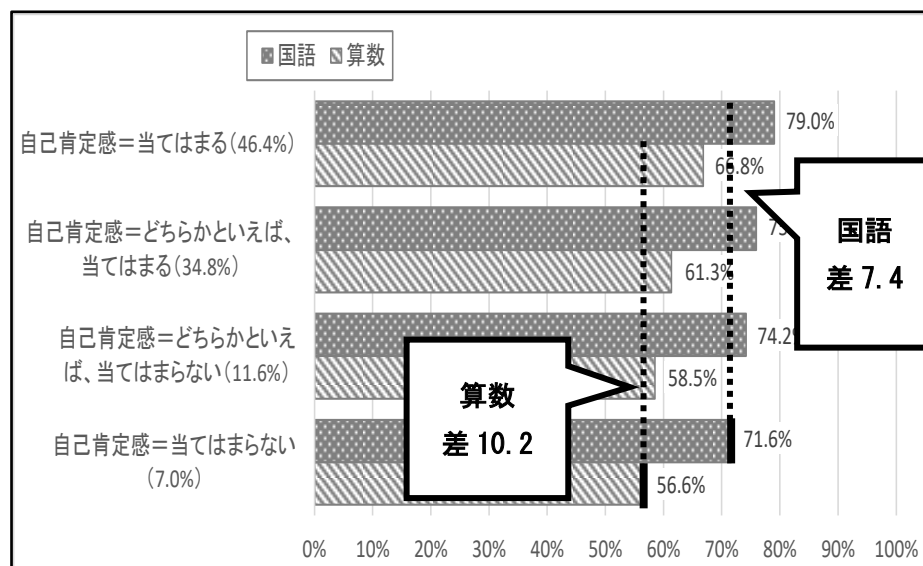
3 学習に対する好感度【問2】×勉強する理由【問4】



好感度が高い児童ほど「わかると楽しいから」と回答する割合が多い。「すきだ」と回答した児童と「すきではない」と回答した児童とでは23.6ポイントの差がある。「すきではない」と回答した児童の14.1%が勉強する理由として「家の人やまわりの人にいわれるから」を選んでおり、他に比べて多い。

(報告書 P84 参照)

21 自己肯定感【問 46】×国語・算数の正答率

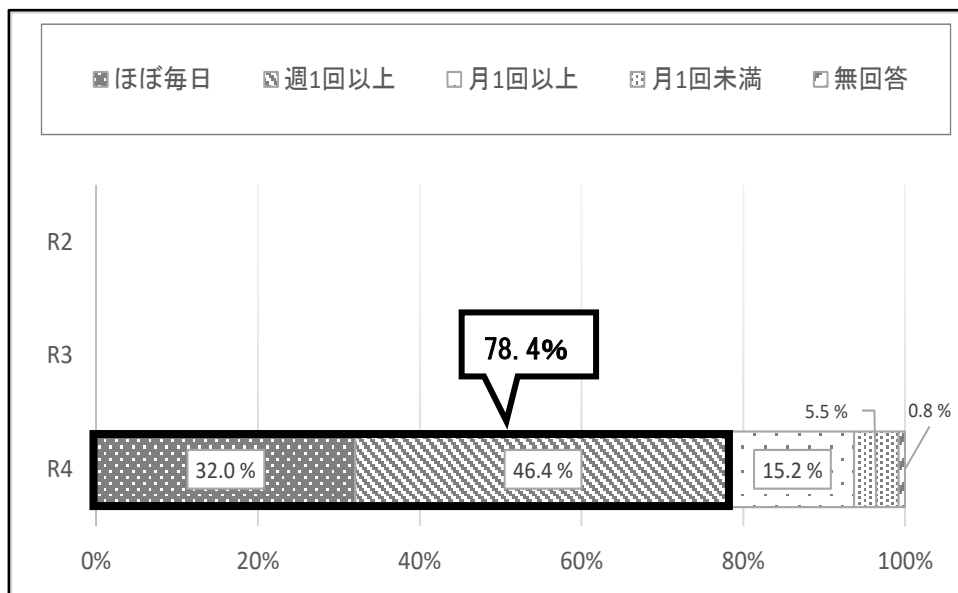


「自分にはよいところがあると思う (当てはまる)」と回答している児童ほど国語・算数の正答率が高い。「当てはまらない」と回答した児童の国語と算数の正答率は、それぞれ 71.6%、56.6%で、「当てはまる」と回答した児童とは、7～10 ポイントほどの開きがある。

4 ICT 活用に関する新規の4項目について

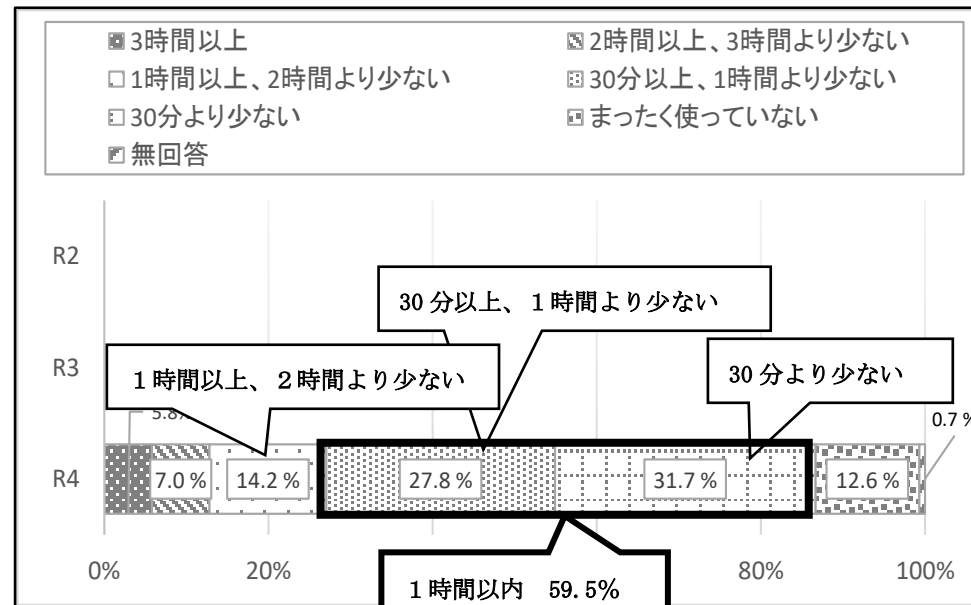
(報告書P75 参照)

問 73 4年生までに受けた授業で、GIGA 端末などの ICT 機器をどの程度使用しましたか。



32.0%の児童が、授業で「ほぼ毎日」ICT 機器を使用していると回答しており、「週1回以上」と合わせると 78.4%である。

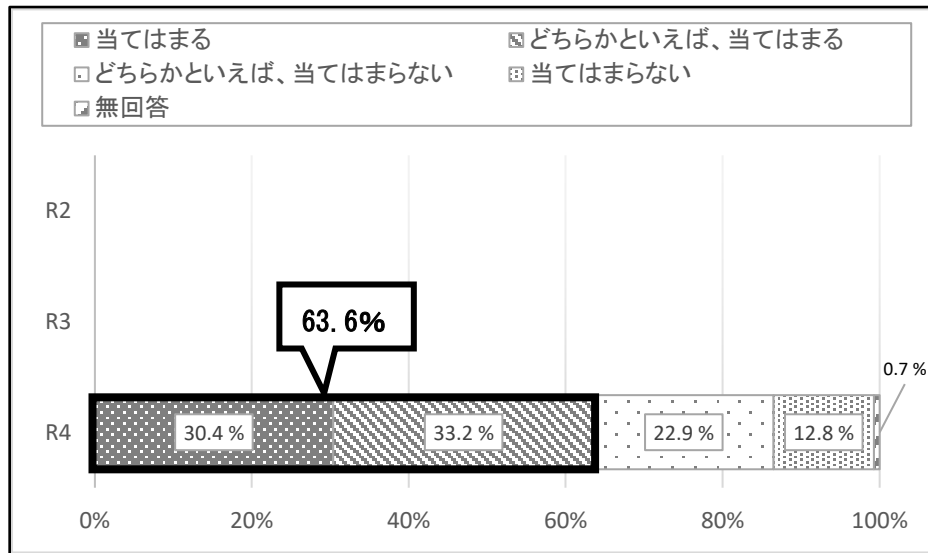
問 74 学校がある日(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータ・GIGA 端末などの ICT 機器を、勉強のために使っていますか。



「30分より少ない」が31.7%で最も多く、「30分以上、1時間より少ない」が27.8%、「1時間以上、2時間より少ない」が14.2%である。

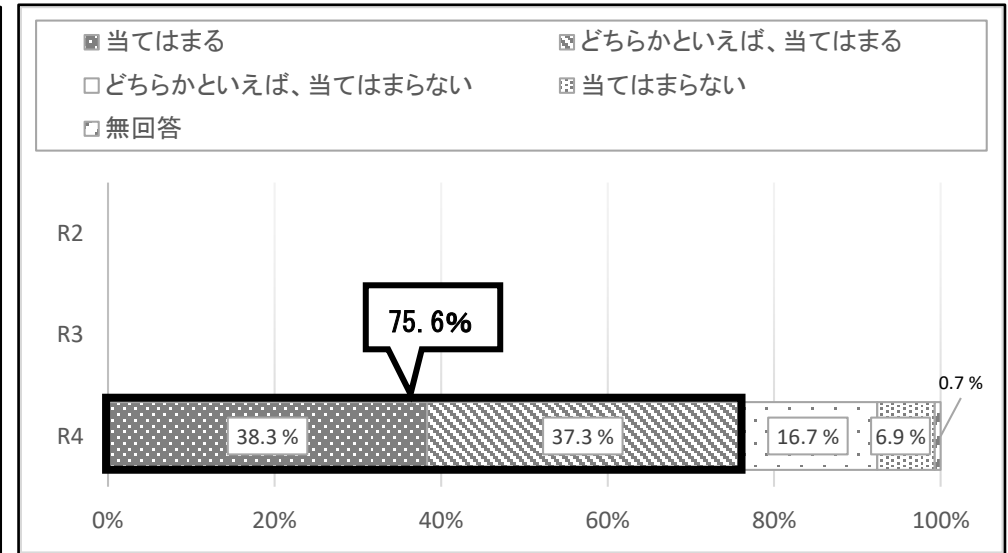
(報告書 P75～P76 参照)

問 75 先生に指示されたときだけでなく、自分から進んで GIGA 端末を活用していますか。



「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合は 63.6%である。

問 76 GIGA 端末を活用することで、学習を見通したり振り返ったり、話し合い、自分の考えを深めることができますか。



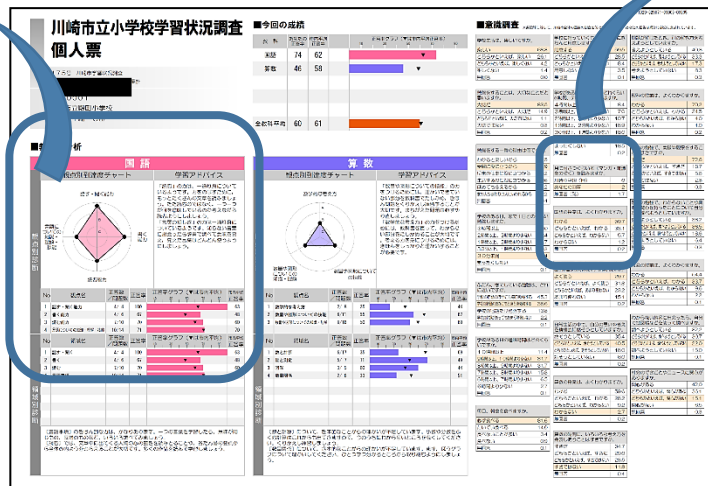
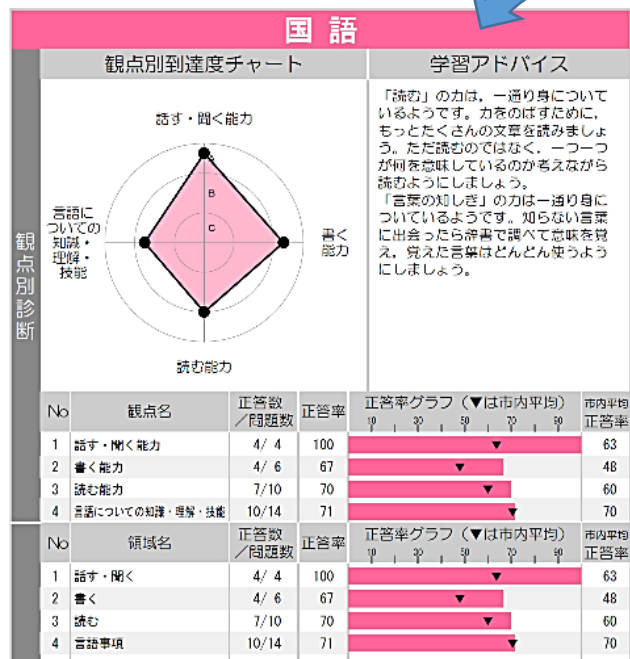
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合は 75.6%である。

◎ 調査結果の活用

川崎市学習状況調査 分かりやすい個票を保護者・児童に提供

児童・保護者に学習状況を伝え、一人一人の課題を明確にし、学習に取り組む態度や家庭学習の改善に役立てます。

■教科別分析



国語の授業は、よくわかりますか。

わかる	57.3
どちらかといえば、わかる	35.0
どちらかといえば、わからない	5.9
わからない	1.6
無回答	0.2

算数の授業は、よくわかりますか。

わかる	57.4
どちらかといえば、わかる	29.3
どちらかといえば、わからない	9.9
わからない	3.2
無回答	0.2

【様々な情報提供】
小問別、領域別、観点別に川崎市平均正答率と結果を示しています。

【意識調査】
アンケート調査については、国語、算数について授業の理解度などについて選択肢別の回答率を示しています。

数値は川崎市の全体の割合 (%)
本人の選択は網掛け部分

川崎市学習状況調査 児童個別振り返りシートを保護者・児童に提供

児童・保護者に学習状況を伝え、一人一人の課題を明確にし、児童それぞれの力にあったフォローアップシートを提供します。

算数 【1.数と計算】

(1) 次の計算をしましょう。答えは1から3の中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

① $20 + 20 \div 2$

- 1. 20
- 2. 30
- 3. 42

② $25 - 5 \times 3$

- 1. 10
- 2. 23
- 3. 60

③ $2 + 3 \times 4 + 5$

- 1. 19
- 2. 25
- 3. 45

【わかりやすい提示】

児童の学習状況をもとに、振り返り問題として領域ごと児童にあったフォローアップ問題が提供されます。(例は算数科のもの)

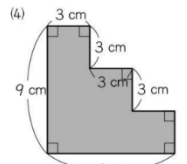
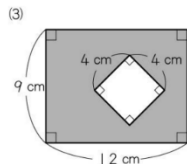
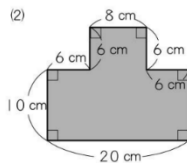
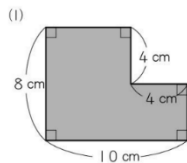
ページの本を、1日に12ページずつ読みます。全部読み終わるまでに何日かかりますか。式は1から4、答えは1から5の中からそれぞれ1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 式
- 1. $224 + 12$
 - 2. $224 - 12$
 - 3. 224×12
 - 4. $224 \div 12$

- 答え
- 1. 18日
 - 2. 19日
 - 3. 212日
 - 4. 236日
 - 5. 2688日

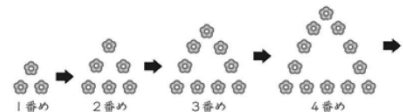
算数 【2.図形】

◆ 次の図形の色のついた部分の面積を求めましょう。



算数 【3.変化と関係】

◆ 下の図のように、おはじきを正三角形にならべていきます。あとの問いに答えましょう。

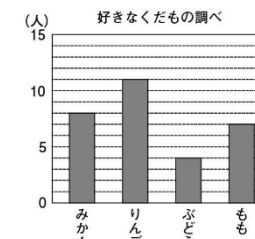


正三角形の大きさ ○ (番め)	1	2	3	4	5	6	
おはじきの数 △ (こ)							

- (1) 正三角形の大きさが6番めのときのおはじきの数を書きましょう。
- (2) 正三角形の大きさを○番め、おはじきの数を△ことして、○と△の関係を式に表しましょう。
- (3) おはじきの数が30こになるのは、何番めか答えましょう。

算数 【4.データの活用】

◆ 右のぼうグラフは、1組の全員に『みかん、りんご、ぶどう、もも』の中から好きなくだものを1つ書いてもらい、グラフに整理したものです。次の問いに答えましょう。



- (1) 好きな人が二番目に多いくだものは何ですか。
- (2) りんごが好きな人もももが好きな人の差は何人ですか。
- (3) みかんが好きな人は、ぶどうが好きな人の何倍ですか。